

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 8月14日  
13時42分58秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0004040100	男女共同参画室男女共同参画センター
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00164	男女共同参画センター施設管理事業							
章	01	すべての人がいきいき輝くまちづくり							
節	03	男女共同参画のまちづくり							
細節	60	男女が共に自立して社会参画できる環境の整備							
予算事業	10158	01	02	01	24	04	01	01	男女共同参画センター施設管理事業（男女共同参画費）
所属長	畑澤 由佳			担当者（内線）	古澤 千恵（IP601-2101）				
根拠法令等	男女共同参画社会基本法、吹田市男女共同参画推進条例、吹田男女共同参画センター条例、男女共同参画プラン								
事業開始年度	昭和62年度	直近の改正	平成28年度						
改正内容	担当部名の変更								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	市民および事業者		
目標	市民および事業者へ自主的な活動の場を提供することで、男女共同参画の推進を図る。		
結果	地域での学び、社会参加の促進及び男女共同参画の推進。		
事業概要	<p>使用を希望する団体は、使用日の3か月前の日が属する月の初日から、使用日までに「男女共同参画センター使用許可申請書」に使用料を添えて申し込む。用途に応じて、10室（研修室1、研修室2、視聴覚室、第1会議室、第2会議室、生活科学室、実技研修室、和室、工芸室、実験室）の貸室がある。</p> <p>男女共同参画の推進に関する活動等を当センターを拠点として行う団体・グループに対し、ロッカーの貸出しや印刷機使用等の支援を行っている。また、グループ間の交流や情報交換を促進するための取組みを実施している。</p> <p>施設の維持管理に必要な清掃・保安警備・電気機械等設備保守・環境衛生管理等については業者委託し、良好な環境の維持に努めている。</p>		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	双葉化学商会、京阪環境サービス他
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	清掃、保安警備他 計18業務
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	26,541	25,570	57,050	41,872	51,375
人件費職員数(人)	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	10,621	10,270	10,468	10,170	10,329
総事業費(A+B)	37,162	35,840	67,518	52,042	61,704
特定財源(C)	3,751	6,412	3,355	3,223	3,206
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	3,751	6,412	3,355	3,223	3,206
市負担(D)	33,411	29,428	64,163	48,819	58,498
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	33,411	29,428	64,163	48,819	58,498
財源計(C+D)	37,162	35,840	67,518	52,042	61,704

所属	男女共同参画室男女共同参画センター
事務事業番号	00164

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	開館日に対する利用件数	件	目標値	10,320.00	10,290.00	10,230.00
			実績値	3,843.00	3,750.00	
			達成度(%)	37.20	36.40	
目標値の積算方法	年間開館日数×10室×3区分(午前・午後・夜間)(平成28年度 344日、平成29年度 343日、平成30年度 341日)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	9.33	13.88	
			一般財源(千円)	7.66	13.02	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	施設利用人数	人	目標値	0.00	0.00	84,472.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	前年度の実績値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
<p>成果内容</p> <p>団体・グループの活動が促進され、交流や情報交換が深まることで、男女共同参画社会の実現を図る。今回から指標を見直し設定したため平成28年度と29年度の目標値及び実績値は空欄とする。</p>	<p>達成状況</p> <p>男女共同参画社会形成の実現を推進する。</p>

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	評価の説明
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	<p>施設の維持管理に関しては業務委託を行っている。当センターは、男女共同参画を推進する施設として設置されている。貸室としての利用だけでなく、利用する団体・グループ間の交流や情報交換の場として、発展してきた経緯がある。昭和62年の建設から31年が経過し、老朽化に伴う年次的な修繕が必要である。今後も市が関与すべき事業である。平成26年度から、従来休館日だった月曜日を開館したことにより利用件数や使用料収入は増加したが、更なる周知が必要と考えている。今後も利用者の多様なニーズに対応し、男女がともに活躍できる場を提供することに主眼を置いた運営を目指しつつ、効果的な事業のあり方を検討していく必要があると考える。</p> <p>市民の社会参画を促進し、男女共同参画の推進をめざす市民活動・交流を支援するために、施設利用の有効性や持続可能性の更なる研究を進めていく。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	男女共同参画センター	事業名	男女共同参画センター施設管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	00164				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	男女共同参画センター	事務事業番号	00164
-----	------------	--------	-------

## 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組 <input type="checkbox"/> 部として重点的な取組 <input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	
(3)現状分析	<p>男女共同参画を推進する拠点施設として、貸館等で市民グループの活動支援をしている。また、情報提供の場としても、多くの市民に利用されており、事業実施の妥当性はあると考える。</p> <p>施設の維持管理の面では、昭和62年の建設から31年が経過しており、年次的な修繕の必要が出てきている。施設管理のうち、警備・清掃・消防設備点検等については業務委託しているが、貸館業務は直営で実施しているため、財務諸表では給与関係費の割合が大きくなっている。また、老朽化比率は、平成28年度は前年度比2ポイント増加した。</p> <p>今後は施設の運営について、貸出備品の適正な管理に努め、特定財源である印刷機の受益者負担について改善を検討していく。</p>

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 8月14日  
13時45分07秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0004040100	男女共同参画室男女共同参画センター
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00165	男女共同参画センター運営事業							
章	01	すべての人がいきいき輝くまちづくり							
節	03	男女共同参画のまちづくり							
細節	20	男女共同参画に向けての意識改革							
予算事業	10159	01	02	01	24	05	01	01	男女共同参画センター運営事業（男女共同参画費）
所属長	畑澤 由佳			担当者（内線）中谷 美樹（IP601-2105）					
根拠法令等	男女共同参画社会基本法、吹田市男女共同参画推進条例、吹田男女共同参画センター条例、男女共同参画プラン								
事業開始年度	昭和62年度	直近の改正		平成28年度					
改正内容	担当部名の変更								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民、事業者		
目標	多くの市民、事業者にとって利用しやすい施設にする		
結果	男女共同参画社会の推進		
事業概要	男女共同参画センター運営審議会の開催及び男女共同参画のための意識啓発講座、社会参加促進支援講座等の講座や講演会の企画等のための非常勤職員を任用することにより、男女共同参画社会を推進する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	18,508	18,408	19,408	18,574	19,063
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	4,026	3,912	3,973
総事業費(A+B)	22,593	22,358	23,434	22,486	23,036
特定財源(C)	79	117	65	44	96
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	79	117	65	44	96
市負担(D)	22,514	22,241	23,369	22,442	22,940
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	22,514	22,241	23,369	22,442	22,940
財源計(C+D)	22,593	22,358	23,434	22,486	23,036

所属	男女共同参画室男女共同参画センター
事務事業番号	00165

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	男女共同参画センター運営審議会の開催、講座の企画等のための非常勤職員の任用等	目標	男女共同参画社会の推進
成果内容	男女共同参画センターの円滑な運営	達成状況	審議会での審議がフィードバックされた形のセンターの円滑な運営及び効果的な事業の推進

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	男女共同参画センター運営審議会の開催、講座の企画等のための非常勤職員を任用することにより、男女共同参画社会を推進する。事業費や市負担はほとんど増加しておらず、妥当であると考え。今後の方向性は、男女共同参画センターの事業運営に関して行政外部から意見を聞く場である運営審議会は、市民参画の観点から今後も継続が必要であり、非常勤職員と臨時雇用員の任用についても男女共同参画センターの主催事業や貸館、情報ライブラリー業務などを市民サービスを低下させることなく存続させるために必要と考えており継続とする。

## 事務事業分析シート

所属名	男女共同参画センター	事業名	男女共同参画センター運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00165				

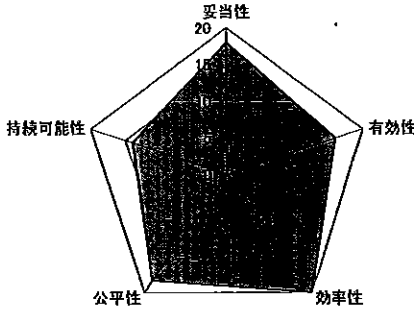
## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	男女共同参画センター	事務事業番号	00165
-----	------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>男女共同参画推進の拠点施設として市が関与すべき事業であり、様々な市民向けの意識啓発講座等を企画する非常勤職員の委嘱及び事業全般を補助する臨時雇用員の任用は、限られた職員体制の中では事業存続のため必要不可欠であり、妥当性は高いと考えられる。</p> <p>効率性については、過去3年間の事業費はほぼ増加しておらず、非常勤職員の講座スケジュールや臨時雇用員のシフトについても一律ではなく毎年見直す中で事業運営しており、事業の効率性向上に寄与している。</p> <p>持続可能性については、事業費が増加しておらず、担い手も適正と考えており、持続可能性はある事業であるが、課題としては市町村により講座企画等の運営状況が多様で報酬額等も教示してもらえない状況があり、定期的な比較・分析ができないことである。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 8月14日  
14時14分04秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0004040100	男女共同参画室男女共同参画センター
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00166	男女共同参画センター主催講座等事業							
章	01	すべての人がいきいき輝くまちづくり							
節	03	男女共同参画のまちづくり							
細節	60	男女が共に自立して社会参画できる環境の整備							
予算事業	10160	01	02	01	24	05	02	01	男女共同参画センター主催講座等事業（男女共同参画費）
所属長	畑澤 由佳			担当者（内線）和田 亜由美（IP601-2104）					
根拠法令等	男女共同参画社会基本法、吹田市男女共同参画推進条例、吹田男女共同参画センター条例、男女共同参画プラン								
事業開始年度	昭和62年度	直近の改正		平成28年度					
改正内容	担当部名の変更								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民		
目標	男女共同参画社会の推進のための意識啓発及び社会参加を促進する		
結果	男女共同参画社会の推進		
事業概要	男女共同参画を推進する視点に立って、意識啓発講座、社会参加促進支援講座等の講座を開催するほか、男女共同参画推進員の養成講座を実施した。男女共同参画推進員として講座の企画、運営等を職員と協働で行うことで更なる人材育成を図る。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	3,468	2,911	3,424	2,726	3,417
人件費職員数(人)	2.00	2.00	2.00	2.00	2.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	16,340	15,800	16,104	15,646	16,685
総事業費(A+B)	19,808	18,711	19,528	18,372	20,102
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	19,808	18,711	19,528	18,372	20,102
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	19,808	18,711	19,528	18,372	20,102
財源計(C+D)	19,808	18,711	19,528	18,372	20,102

所属	男女共同参画室男女共同参画センター
事務事業番号	00166

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	開催講座等回数	回	目標値	136.00	144.00	146.00
			実績値	147.00	138.00	
			達成度(%)	108.10	95.80	
目標値の積算方法	実績値過去3年の平均	単位当たりコスト	総事業費(千円)	127.29	133.13	
			一般財源(千円)	127.29	133.13	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	開催講座等受講許可者数	人	目標値	3,815.00	4,501.00	5,316.00
			実績値	5,021.00	5,571.00	
			達成度(%)	131.60	123.80	
目標値の積算方法	実績値過去3年の平均	単位当たりコスト	総事業費(千円)	3.73	3.30	
			一般財源(千円)	3.73	3.30	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	開催講座等応募者数	人	目標値	4,000.00	4,633.00	6,000.00
			実績値	5,174.00	5,831.00	
			達成度(%)	129.40	125.90	
目標値の積算方法	前年度実績値+3%	単位当たりコスト	総事業費(千円)	3.62	3.15	
			一般財源(千円)	3.62	3.15	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	主催講座等の受講者アンケートで満足度が80%以上の受講者割合	%	目標値	0.00	0.00	100.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	(平成30年度から指標設定)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	主催講座等の実施	目標	男女共同参画社会の実現
成果内容	参加したことで意識が変わること及び社会参加しようとする事。 (成果指標②については、今回から指標を見直し設定したため、平成28・29年度の目標値及び実績値は空欄とする)	達成状況	男女共同参画社会の推進

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	男女共同参画を推進する拠点施設として、意識啓発や社会参加促進支援講座等の課題解決に向けた多様な講座を開催し、市民が性別にとらわれることなく主体的に選択し行動するための支援を行ってきた。今後も現代社会において男女問わずいろいろな場面で生き辛さを抱えている人々に新たな気づきの機会を提供する必要があると考える。 そのため、常にニーズを把握し、企画内容や開催時期、時間帯などを工夫した結果、講座開催数はほぼ横ばいであるが受講申込者数は増加しており、応募者の多い講座は次年度にも回数を増やして開催するなどして、市民のニーズに応えている。一方で、他の機関との共催講座にするなどして、事業費が膨らまないように工夫している。 また、男女共同参画推進員を養成し、職員とともに講座の企画、運営等で活動することでさらなる人材育成を図っており、今後も継続していくことが妥当である。

## 事務事業分析シート

所属名	男女共同参画センター	事業名	男女共同参画センター主催講座等事業	事業区分	その他
事務事業番号	00166				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	男女共同参画センター	事務事業番号	00166
-----	------------	--------	-------

## 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性、(3)効率性および(5)持続可能性  男女共同参画を推進する拠点施設として、意識啓発や課題解決に向けた多様な講座等を開催し、性別にとらわれることなく主体的に選択し行動するための支援を行ってきた。今後も現代社会において男女問わずいろいろな場面で生き辛さを抱えている人々に新たな気づきの機会を提供する必要があると考える。  また、職員とともに講座の企画・運営を行う市民スタッフを養成し、ともに活動することで人材育成を図っているが、市民グループ等の自主企画講座の支援にもさらに力を入れることで、事業の効率性向上に寄与できると考える。</p>		

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

--

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 8月14日  
13時51分03秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0004040100	男女共同参画室男女共同参画センター
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00167	男女共同参画センター保育事業							
章	01	すべての人がいきいき輝くまちづくり							
節	03	男女共同参画のまちづくり							
細節	60	男女が共に自立して社会参画できる環境の整備							
予算事業	10161	01	02	01	24	05	02	02	男女共同参画センター保育事業（男女共同参画費）
所属長	畑澤 由佳			担当者（内線）	和田 亜由美（IP601-2104）				
根拠法令等	男女共同参画社会基本法、吹田市男女共同参画推進条例、吹田男女共同参画センター条例、男女共同参画プラン								
事業開始年度	昭和62年度	直近の改正	平成28年度						
改正内容	担当部名の変更								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	保育スタッフを目指す市民及び保育を希望する市民		
目標	保育スタッフの育成と保育事業の充実		
結果	保育スタッフとして活動することによる社会参加の促進		
事業概要	男女共同参画の推進のため、地域で活動する保育ボランティアを養成する講座を実施しており、その修了生が男女共同参画推進員となり、当センター主催講座の保育を担うとともに、必要な保育技術の習得や、資質の向上を目的として研修を実施するなど、人材の育成を行っている。また、主催講座や男女共同参画推進員活動に保育をつけることによって、女性の社会進出がさらに促進されるよう努めている。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,403	1,030	1,492	1,120	1,425
人件費職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	2,451	2,370	2,416	2,347	2,384
総事業費(A+B)	3,854	3,400	3,908	3,467	3,809
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	3,854	3,400	3,908	3,467	3,809
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,854	3,400	3,908	3,467	3,809
財源計(C+D)	3,854	3,400	3,908	3,467	3,809

所属	男女共同参画室男女共同参画センター
事務事業番号	00167

2頁  
平成30年 8月14日  
13時51分03秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	保育スタッフ登録者数	人	目標値	110.00	92.00	89.00
			実績値	95.00	87.00	
			達成度(%)	86.40	94.60	
目標値の積算方法	実績値過去3年の平均	単位当たりコスト	総事業費(千円)	35.79	39.85	
			一般財源(千円)	35.79	39.85	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	一時保育実施回数	回	目標値	225.00	256.00	225.00
			実績値	220.00	206.00	
			達成度(%)	97.80	80.50	
目標値の積算方法	実績値過去3年の平均	単位当たりコスト	総事業費(千円)	15.45	16.83	
			一般財源(千円)	15.45	16.83	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	保育スタッフ延べ活動人数	人	目標値	787.00	767.00	681.00
			実績値	625.00	621.00	
			達成度(%)	79.40	81.00	
目標値の積算方法	実績値過去3年の平均	単位当たりコスト	総事業費(千円)	5.44	5.58	
			一般財源(千円)	5.44	5.58	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	保育付き講座のうち保育を実施した講座の割合	%	目標値	100.00	100.00	100.00
			実績値	100.00	100.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	前年度実績	単位当たりコスト	総事業費(千円)	34.00	34.67	
			一般財源(千円)	34.00	34.67	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	センター開館当初からある事業であり、主催講座や男女共同参画推進員活動に保育をつけることによって、子育て中の人に学習の機会を提供し、女性の社会進出の促進に寄与している。 事業費は適切であり、保育の安全性を担保するために必要な経費を計上している。 指標数値として、活動回数や人数はやや減少傾向にあるものの、すべての保育付講座で保育希望があり、実施されていることから、このまま継続することが妥当である。

## 事務事業分析シート

所属名	男女共同参画センター	事業名	男女共同参画センター保育事業	事業区分	その他
事務事業番号	00167				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、取納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
b. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	男女共同参画センター	事務事業番号	00167
-----	------------	--------	-------

## 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性および(3)効率性 本事業は、子育て中の女性の社会参画を支援するため市が関与すべき事業であるが、子供を保育所に預けて就労する人が増えており、また一時保育に関する民間サービスの充実などから、利用者数は若干減少してきている。しかし、すべての保育付講座で保育希望があり、一時保育利用者の満足度も高いことから、本事業の実施意義は高いと考えられる。</p> <p>また、一時保育の提供だけではなく、保育スタッフも養成講座を受講した市民であり、地域における保育ニーズに対応できる人材を育成していくことも本事業の目的としているため、今後も継続していく必要があると考える。</p> <p>(5)持続可能性 本事業の担い手は市民スタッフであり、今後大きく事業費は増大しないが、保育の安全性を担保するため、老朽化した保育用品の更新などのわずかな事業費負担は発生すると考えられる。</p>		

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 8月14日  
13時52分37秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0004040100	男女共同参画室男女共同参画センター
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00168	男女共同参画センター事業者向け研修会等事業							
章	01	すべての人がいきいき輝くまちづくり							
節	03	男女共同参画のまちづくり							
細節	32	男女が人間らしくゆとりをもって働き暮らすための環境整備/労働							
予算事業	10163	01	02	01	24	05	02	03	男女共同参画センター事業者向け研修会等事業（男女共同参画費）
所属長	畑澤 由佳			担当者（内線）	和田 亜由美（IP601-2104）				
根拠法令等	男女共同参画社会基本法、吹田市男女共同参画推進条例、吹田男女共同参画センター条例、男女共同参画プラン								
事業開始年度	昭和62年度	直近の改正	平成28年度						
改正内容	担当部名の変更								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	事業者		
目標	就労における男女共同参画の推進		
結果	女と男が人間らしくゆとりをもって暮らす		
事業概要	<p>職場における男女共同参画の実現のため、育児介護休業法などの制度の周知、キャリア教育、ダイバーシティなどの啓発、研修会を実施するなどして、事業者に積極的に働きかける。</p> <p>開催回数や方法など様々な事業所のニーズに対して柔軟に対応していく必要があるため、平成30年度より「166男女共同参画センター主催講座等事業」に統合する。</p>		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	87	96	87	59	0
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	783	0
総事業費(A+B)	904	886	893	842	0
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	904	886	893	842	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	904	886	893	842	0
財源計(C+D)	904	886	893	842	0

所属	男女共同参画室男女共同参画センター
事務事業番号	00168

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	研修会の開催回数	回	目標値	2.00	2.00	0.00
			実績値	2.00	1.00	
			達成度(%)	100.00	50.00	
目標値の積算方法	前年度実績開催回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	443.00	842.00	
			一般財源(千円)	443.00	842.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	研修会の参加者数	人	目標値	79.00	95.00	0.00
			実績値	115.00	50.00	
			達成度(%)	145.60	52.60	
目標値の積算方法	実績値過去3年の平均	単位当たりコスト	総事業費(千円)	7.70	16.84	
			一般財源(千円)	7.70	16.84	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	育児休業制度の利用があった事業所	%	目標値	20.00	20.00	0.00
			実績値	7.80	7.80	
			達成度(%)	39.00	39.00	
目標値の積算方法	吹田市労働事情調査(平成27年度調査結果・3年毎に実施)をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	113.59	107.95	
			一般財源(千円)	113.59	107.95	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	介護休業制度の利用があった事業所	%	目標値	10.00	10.00	0.00
			実績値	0.50	0.50	
			達成度(%)	5.00	5.00	
目標値の積算方法	吹田市労働事情調査(平成27年度調査結果・3年毎に実施)をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,772.00	1,684.00	
			一般財源(千円)	1,772.00	1,684.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	出前講座を実施する事業所を増やすためには、開催方法など様々な事業所のニーズに対応する必要があるため、平成30年度より「主催講座等事業」に統合した。今後、より効果的な啓発方法を検討する必要がある。

## 事務事業分析シート

所属名	男女共同参画センター	事業名	男女共同参画センター事業者向け研修会等事業	事業区分	その他
事務事業番号	00168				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	男女共同参画センター	事務事業番号	00168
-----	------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(3)効率性                      職場における男女共同参画の実現のため、就労環境の改善や意識啓発のための研修を推進し、吹田商工会議所とも連携して、育児休業法などの制度の周知、キャリア教育、ダイバーシティなどの研修の実施を事業者に積極的に働きかける必要があると考える。評価は高いが、より様々な事業所のニーズに対応していくため、平成30年度より主催講座等事業に統合した。今後、関係部署とも連携し、より効果的な啓発方法について検討していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 8月14日  
13時53分31秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0004040100	男女共同参画室男女共同参画センター
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00169	男女共同参画センター調査研究事業							
章	01	すべての人がいきいき輝くまちづくり							
節	03	男女共同参画のまちづくり							
細節	20	男女共同参画に向けての意識改革							
予算事業	10164	01	02	01	24	05	02	04	男女共同参画センター調査研究事業（男女共同参画費）
所属長	畑澤 由佳			担当者（内線）	中谷 美樹（IP601-2105）				
根拠法令等	男女共同参画社会基本法、吹田市男女共同参画推進条例、吹田男女共同参画センター条例、男女共同参画プラン								
事業開始年度	昭和62年度	直近の改正	平成28年度						
改正内容	担当部名の変更								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民		
目標	調査研究を通じた課題解決とその他事業の目標の明確化		
結果	男女共同参画の推進のためのニーズの掘り起こしと事業へのフィードバックにより施策の推進を図る。		
事業概要	男女共同参画を推進するための課題を調査、研究し、事業にフィードバックする。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	126	93	300	300	104
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	783	795
総事業費(A+B)	943	883	1,106	1,083	899
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	943	883	1,106	1,083	899
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	943	883	1,106	1,083	899
財源計(C+D)	943	883	1,106	1,083	899

所属	男女共同参画室男女共同参画センター
事務事業番号	00169

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		%	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	男女共同参画社会を推進するための課題について調査研究を行う。	目標	男女共同参画社会の実現
成果内容	事業にフィードバックすること。調査研究の内容は固定していないため、成果内容の目標値の積算方法は調査研究ごとに変わる。平成29年度は若年層をとりまく性暴力の現状と課題である。	達成状況	本来数値で指標を示すことが困難ではあるが、調査研究で得た課題や市民ニーズを事業に反映するよう努めている。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	1年目に具体的な課題に特化し、学識経験者等からの教示を受けながら調査分析を行い、翌2年目に報告書等成果物を作成する方法にシフトしたことにより、事業へのフィードバックにはより効果的となっている。平成29年度は「若年層を取り巻く性暴力の現状とは」について専門家やNPO法人に調査研究依頼した。内容は固定化されておらず、経年的に同一の指標を設定することは困難ではあるが、条例で定めているように重要な事業であり、今後もより効果的な実施方法を検討しながら進める必要があるため、今後の方向性は継続とする。妥当性については、男女共同参画センター条例に男女共同参画推進のため実施する事業として定めており、市が関与する事業であるが、担い手には民間委託など検討の余地はあると考える。		

## 事務事業分析シート

所属名	男女共同参画センター	事業名	男女共同参画センター調査研究事業	事業区分	その他
事務事業番号	00169				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		c. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	1点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	82	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	男女共同参画センター	事務事業番号	00169
-----	------------	--------	-------

## 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性については、男女共同参画センター条例に定めている市が関与すべき事業であるが、担い手については検討の余地がある。</p> <p>効率性については、1年目を調査、2年目を報告書の作成とすることで、事業へのフィードバックの検討を効率的に行うことができているが、その分完成までの期間が長くなっている。調査研究の内容は固定しておらず、常に利用者の声や社会状況、センター事業の課題を意識しながらその時々で必要な調査研究を行っているため、センター運営にとって必要な事業であると考え継続とする。</p>		

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 8月14日  
14時05分32秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0004040100	男女共同参画室男女共同参画センター
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00170	女性のための相談事業							
章	01	すべての人がいきいき輝くまちづくり							
節	03	男女共同参画のまちづくり							
細節	50	女性に対するあらゆる暴力の根絶のための基盤づくり							
予算事業	10165	01	02	01	24	05	03	01	女性のための相談事業（男女共同参画費）
所属長	畑澤 由佳			担当者（内線）	中谷 美樹（IP601-2105）				
根拠法令等	男女共同参画社会基本法、吹田市男女共同参画推進条例、吹田男女共同参画センター条例、男女共同参画プラン								
事業開始年度	昭和62年	直近の改正	平成28年度						
改正内容	担当部名の変更								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	市内在住在勤在学の女性		
目標	悩みを抱える女性が自ら悩みを解決する力を身につける。		
結果	男女が共に対等な社会の構成員として、主体的に生き生きと活動し安心して暮らすことができる男女共同参画の推進に寄与する。		
事業概要	<p>【電話相談】毎週水曜日、10:00~17:00 毎週月・金曜日10:00~16:00も実施（専用回線1回線。公募型プロポーザルにより選定した業者に委託。女性カウンセラー） 【悩みの相談】毎月第1・4火曜日、第2・3土曜日（祝日の場合は日程変更）10:00~14:45（面接相談、予約制1日4枠、女性カウンセラー） 【法律相談】第2土曜日（祝日の場合は日程変更）13:30~17:00（面接相談、予約制、1日7枠、女性弁護士）</p>		
実施方法	■ 直接実施		
	■ 委託又は一部委託	委託先①	大阪弁護士会
		委託先②	NPO法人 心のサポートステーション
		委託先③	
	主な委託内容		法律相談と電話相談を委託
	□ 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
□ その他	内容		

## <事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	2,380	2,411	2,519	2,519	2,532
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	1,634	1,580	1,611	1,565	1,589
総事業費(A+B)	4,014	3,991	4,130	4,084	4,121
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	4,014	3,991	4,130	4,084	4,121
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,014	3,991	4,130	4,084	4,121
財源計(C+D)	4,014	3,991	4,130	4,084	4,121

所属	男女共同参画室男女共同参画センター
事務事業番号	00170

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	「悩みの相談」実施件数	件	目標値	192.00	192.00	192.00
			実績値	121.00	148.00	
			達成度(%)	63.00	77.10	
目標値の積算方法	実施枠数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	32.98	27.59	
			一般財源(千円)	32.98	27.59	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	「法律相談」実施件数	件	目標値	84.00	84.00	84.00
			実績値	56.00	54.00	
			達成度(%)	66.70	64.30	
目標値の積算方法	実施枠数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	71.27	75.63	
			一般財源(千円)	71.27	75.63	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	「悩みの相談」利用者の満足度が80%を超える割合 (平成26年度より実施)	%	目標値	100.00	100.00	100.00
			実績値	81.60	82.60	
			達成度(%)	81.60	82.60	
目標値の積算方法	利用者アンケート結果	単位当たりコスト	総事業費(千円)	48.91	49.44	
			一般財源(千円)	48.91	49.44	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	「法律相談」利用者の満足度が80%を超える割合 (平成28年度より実施)	%	目標値	100.00	100.00	100.00
			実績値	60.50	77.50	
			達成度(%)	60.50	77.50	
目標値の積算方法	利用者アンケート結果	単位当たりコスト	総事業費(千円)	65.97	52.70	
			一般財源(千円)	65.97	52.70	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	「電話相談」	目標	相談者自らが問題を解決する力を身につける
成果内容	相談された事案の解決	達成状況	解決件数は把握できないが、受付窓口で相談員に対するお礼の伝言を聞くこともあり、成果は達成されていると考えている。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>女性が抱えるさまざまな生き辛さに気づき、女性が自らエンパワーメントを目指すために、初期対応や他の機関との連携などは研修を受講したセンターの職員が行い、より専門的な電話や面談でのカウンセリング等については専門家に依頼し、当相談事業に係る職員と専門家全員でケース検討ならびに連携会議を行うことで、事業全体を効率よく行う工夫ができています。また、他相談との連携も緊密に行っている。</p> <p>平成29年度は、成果指標の相談満足度が悩み相談も法律相談も上昇したことから、平成28年度に把握した市民ニーズを連携会議等により迅速に共有することで、相談全般のレベルアップにつなげることができていると考えられる。ほとんどの利用者が相談そのものに高い満足度を示していることから、有効性の高い事業と認識しており、今後も市が関与する事業であるとする。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	男女共同参画センター	事業名	男女共同参画センター女性のための相談事業	事業区分	その他
事務事業番号	00170				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	男女共同参画センター	事務事業番号	00170
-----	------------	--------	-------

## 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>男女ともに固定的な性別役割分担意識にとらわれることで様々な生き辛さを抱える女性のための悩み相談や電話相談、法律相談を実施しており、男女共同参画推進の観点からも市が関与すべき事業である。市民アンケートの実施などにより相談者の満足度を図り、相談員へフィードバックするなど、事業の充実を図るための改善に努めており、効率性、有効性、妥当性は高いと考える。継続相談できることが相談者に喜ばれているが、力を回復して就職するなどし相談を終える方が平成29年度は増えており、相談事業の目標であるエンパワメントの効果であると考え。今後の課題としては、対象者を広げるかどうかを近隣市の状況等確認しながら検討していく。</p>		

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 8月14日  
14時09分53秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0004040100	男女共同参画室男女共同参画センター
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00171	男女共同参画センター情報収集・提供事業							
章	01	すべての人がいきいき輝くまちづくり							
節	03	男女共同参画のまちづくり							
細節	60	男女が共に自立して社会参画できる環境の整備							
予算事業	10166	01	02	01	24	05	04	01	男女共同参画センター情報収集・提供事業（男女共同参画費）
所属長	畑澤 由佳				担当者（内線）	和田 亜由美（IP601-2104）			
根拠法令等	男女共同参画社会基本法、吹田市男女共同参画推進条例、吹田男女共同参画センター条例、男女共同参画プラン								
事業開始年度	昭和62年度	直近の改正	平成28年度						
改正内容	担当部名の変更								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民及び事業者		
目標	情報を収集し提供することにより、男女共同参画の推進を図る。		
結果	男女共同参画に対する理解を深め、市民及び事業者の自主的な活動の支援につなげる。		
事業概要	情報ライブラリーにおいて、男女共同参画に関するさまざまなジャンルの図書や資料、DVDなどの情報を収集し、来館者に提供するほか、利用にあたっての相談やレファレンス業務にも対応している。また、インターネットによる蔵書検索や市立図書館との横断検索を実施している。保育付きの読書会やDVDの上映を行うことで、子育て中の市民の利用促進を図っている。情報ライブラリーの円滑な運営及び男女共同参画の推進を目指す人材を育成するため、男女共同参画推進員活動を推進している。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先①	富士通マーケティング
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	図書管理システム保守料
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	4,788	3,593	4,527	3,399	4,232
人件費職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	2,451	2,370	2,416	2,347	2,384
総事業費(A+B)	7,239	5,963	6,943	5,746	6,616
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	7,239	5,963	6,943	5,746	6,616
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	7,239	5,963	6,943	5,746	6,616
財源計(G+D)	7,239	5,963	6,943	5,746	6,616

所属	男女共同参画室男女共同参画センター
事務事業番号	00171

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	貸出登録者数	人	目標値	3,634.00	3,798.00	4,205.00
			実績値	3,949.00	4,105.00	
			達成度(%)	108.70	108.10	
目標値の積算方法	前年度実績値+100人	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.51	1.40	
			一般財源(千円)	1.51	1.40	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	男女共同参画推進員活動回数	回	目標値	1,667.00	1,311.00	843.00
			実績値	598.00	463.00	
			達成度(%)	35.90	35.30	
目標値の積算方法	実績値過去3年の平均	単位当たりコスト	総事業費(千円)	9.97	12.41	
			一般財源(千円)	9.97	12.41	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	貸出冊数	冊	目標値	4,984.00	4,859.00	4,919.00
			実績値	4,611.00	4,723.00	
			達成度(%)	92.50	97.20	
目標値の積算方法	実績値過去3年の平均	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.29	1.22	
			一般財源(千円)	1.29	1.22	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	保育付き読書及びDVD上映会の参加者数	人	目標値	177.00	204.00	218.00
			実績値	161.00	208.00	
			達成度(%)	91.00	102.00	
目標値の積算方法	前年度実績値+5%	単位当たりコスト	総事業費(千円)	37.04	27.63	
			一般財源(千円)	37.04	27.63	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	図書等の貸出・レファレンス	目標	男女共同参画社会の実現
成果内容	レファレンス等により目的を達したり、学習が進むこと	達成状況	レファレンス等により目的を達したり、学習が進んだ人の増加

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	男女共同参画推進員(情報ライブラリースタッフ)とともに、新聞クリッピング、新刊図書紹介のPOP作成、テーマ展示、Duo Libraryの作成等により、利用促進及び効果的な情報発信に努めており、貸出登録者、貸出冊数共に増加し、一定の成果が表れている。また、保育付き読書及びDVD上映会は参加者数が増加しており、女性の育児ストレスの解消やリフレッシュにつながっていると評価できる。事業費および指標数値の評価については、平成26年度の情報ライブラリースタッフの活動開始から徐々に活動内容の見直し・改善を進めた結果、3年間で活動回数は減少し、事業費も縮小してきた。しかし、活動の基本方針が固まった平成29年度には安定的な活動状況となり、今後の情報ライブラリーの円滑な運営及び男女共同参画の推進を目指す人材を育成するためには、現状の規模で継続していくことが妥当である。

## 事務事業分析シート

所属名	男女共同参画センター	事業名	男女共同参画センター情報収集・提供事業	事業区分	その他
事務事業番号	00171				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
	a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点

所属名	男女共同参画センター	事務事業番号	00171
-----	------------	--------	-------

## 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>妥当性: 20 有効性 効率性 公平性 持続可能性</p>		
(3)現状分析	<p>男女共同参画推進員(情報ライブラリースタッフ)との協働で、新聞クリッピング、新刊図書紹介のPOP作成、テーマ展示、Duo Libraryの作成等を進め、利用者の利便と周知を図っている。また、これにより団体やサークル等の貸室利用者も気軽に立ち寄ることができている。情報ライブラリーは、講座受講後の学習や参画スタッフによる講座企画、広報活動等に欠かせないものであるため、今後ともさらに有効な活用方法を検討していく必要があると考える。また、情報ライブラリーの円滑な運営及び男女共同参画の推進を目指す人材を育成するため、男女共同参画推進員活動を推進している。</p>		

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--



## 事務事業評価調書(確認書)

事務事業名	DV防止対策事業				
担当部名	市民部	室課名	男女共同参画室男女共同参画センター	室課長名	畑澤 由佳

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和62年	改正 内容	担当部名の変更											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	男女共同参画社会基本法、吹田市男女共同参画推進条例、吹田市立男女共同参画センター条例、男女共同参画プラン													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	01	すべての人がいきいき輝くまちづくり	節	03	細節	50							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民及び事業者											
	目標 (どのような状態にしたいのか)	女性に対する暴力とDVの根絶												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	DV被害者の自立支援を促進するとともに加害者を作らせない社会を実現する。												
(7) 事業概要	DV被害を受けている女性のためのカウンセリングによる相談を実施しているほか、予防のための啓発事業やWリボンバッジの販売を促進している。また、NPO法人と連携しデートDV予防啓発事業に取り組んでいる。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	24	大事業	06	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)		平成30年度 (2018年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		3,861	3,714	3,689	3,504	3,783							
	人件費	職員数	人	0.70	0.70	0.70	0.70							
		総額(B)	千円	5,719	5,530	5,637	5,637							
	総事業費(A+B)		9,580	9,244	9,326	9,141	9,345							
	特定財源(C)		2,018	1,879	1,912	1,630	1,924							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	2,018	1,879	1,912	1,630	1,924							
	市負担(D)		7,562	7,365	7,414	7,760	7,421							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		7,562	7,365	7,414	7,760	7,421								
財源計(C+D)		9,580	9,244	9,326	9,390	9,345								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	NPO法人 湘南DVサポートセンター										
			②	吹田頼駿「ほほえみ」										
		③												
	主な委託内容		DV被害者自立支援や若年層に対する啓発等											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目		項目		平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	
(1) 活動指標	① 指標内容	DV相談実施件数	目標値 (単位:回)	132.00	138.00	141.00	
			実績値 (単位:回)	94.00	96.00		
			達成度(%)	71.20	69.60		
	② 指標内容	相談実施回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	39.51	36.50	3,553.00
				一般財源(単位:千円)	19.52	19.52	
		中学校、高等学校、大学などでデートDV予防啓発授業を受講した人数	目標値 (単位:人)	3,098.00	3,109.00		
② 指標内容		実績値 (単位:人)	3,109.00	3,553.00			
		達成度(%)	100.40	114.30			
	目標値の積算方法	前年度実績	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.19	0.99	
(2) 成果指標	① 指標内容	「女性のためのDV相談」利用者の満足度が80%を超える割合(平成28年度から実施)	目標値 (単位:%)	100.00	100.00	100.00	
			実績値 (単位:%)	94.40	90.00		
			達成度(%)	94.4	90.00		
	② 指標内容	100%を目指す	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	39.34	38.93	100.00
				一般財源(単位:千円)	19.44	20.82	
		中学校、高等学校、大学などで実施したデートDV予防啓発授業の受講者アンケートで満足度が80%以上の受講者割合	目標値 (単位:)	0.00	0.00		
② 指標内容		実績値 (単位:)	0.00	0.00			
		達成度(%)	0.0	0.0			
	目標値の積算方法	平成30年度から指標を見直し設定したため、平成28・29年度の目標値及び実績値は空欄にする	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
(3) が困難な場合	① 活動内容	ダブルリボンを旗印に、DVや児童虐待防止講座やイベントを10月～11月に集中的に開催し、意識啓発を行う。		目標	DVや児童虐待防止のための深い理解と関心が広がり「暴力のない安心安全のまち、すいた」の実現を目指す。		
	② 成果内容	各講座やイベントの参加者及びダブルリボンプロジェクト基金への寄付などによりダブルリボンの趣旨への理解が深まり、暴力根絶へと意識啓発される。		達成状況	DVや児童虐待など暴力のない安心安全の状態で暮らす市民		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明	<p>総合的なDV防止対策事業として「予防」「相談」「発見」「フォロー」を行っている。カウンセリングであるDV相談と被害者対象自立支援事業の連携により、平成29年度は自立につながった相談者が出るなど、有効な事業となった。また、主催講座との連携により要支援者の早期発見に努めた。Wリボンを旗印に進めている「Wリボンプロジェクト」については、吹田市民全員にDV防止についての深い理解と関心が広がるように、啓発グッズ等を工夫して広報に努めた。</p> <p>若年層(中学・高校・大学)におけるデートDVの予防啓発出前授業等はニーズも高く、依頼も多いが、従来の専門のNPO法人と育成したユースリーダーによる出前授業だけではなく、研修や経験を重ねた当センター職員が出前授業を行ったり、各学校で予算措置をして行うなど、今後受講者数は増加しても事業費は拡大しない持続可能性が高い事業となっている。</p>					

事務事業分析シート

所属名	男女共同参画センター	事業名	DV防止対策事業	事業区分	その他
事務事業番号	01361				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	94	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。				
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	男女共同参画センター	事務事業番号	01361
-----	------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果			
(3) 現状分析	<p>平成28年4月から「女性のためのDV相談」を月3回から月4回に、保育付きの相談日を月1回から月2回に拡充し、心理的ケアが必要なDV被害者のために相談の充実を図った。また11月を運動月間に、Wリボンプロジェクトinすいた2016として、各種講座の開催やミニ相談会などを実施した。また、Wリボンのライセンスフリー化をスタートさせ、より広くWリボンの趣旨を普及させるよう努めた。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 8月14日  
11時28分07秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0004040100	男女共同参画室男女共同参画センター
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	01404	男女共同参画センター啓発事業							
章	01	すべての人がいきいき輝くまちづくり							
節	03	男女共同参画のまちづくり							
細節	20	男女共同参画に向けての意識改革							
予算事業	10162	01	02	01	24	05	02	05	男女共同参画センター啓発事業（男女共同参画費）
所属長	畑澤 由佳				担当者（内線）古澤 千恵（IP601-2103）				
根拠法令等	男女共同参画基本法、男女共同参画推進条例、男女共同参画センター条例、男女共同参画プラン								
事業開始年度	平成27年度	直近の改正		平成28年度					
改正内容	担当部名の変更								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民および事業者		
目標	男女共同参画推進に対する意識啓発と当センター事業の周知を広く行う。		
結果	男女共同参画社会の推進		
事業概要	男女共同参画推進員（広報スタッフ）とセンター職員が、当センターの機関誌である「ソフィア」を協働して作成・発行している。発行は年3回で、市内公共施設や近隣女性関連施設、市内事業所、金融機関、駅、理美容店などに配布している。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,337	1,426	1,377	1,472	1,511
人件費職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	2,451	2,370	2,416	2,347	2,384
総事業費(A+B)	3,788	3,796	3,793	3,819	3,895
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	3,788	3,796	3,793	3,819	3,895
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,788	3,796	3,793	3,819	3,895
財源計(C+D)	3,788	3,796	3,793	3,819	3,895

所属	男女共同参画室男女共同参画センター
事務事業番号	01404

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		人	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	男女共同参画の視点により構成された啓発誌を企画・編集する。年に3回発行し、市内各所に配布する。	目標	紙面を読み易く工夫し、また市内各所に配布することで市民の目に触れやすくし、意識啓発に繋げる。
成果内容	センターが周知されることと、市民が男女共同参画を身近なものとして理解が深まること。	達成状況	センター周知の一助となり、また男女共同参画社会の推進にも寄与したと考える。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>センターの機関誌であるソフィアは、市民に男女共同参画推進意識の啓発を促し、事業を周知することを目的として発行している。市内公共施設や全国の女性関連施設を含めると1000以上の企業・団体・個人に配布し、施設等には配架を依頼している。</p> <p>企画・編集においては、市民スタッフである男女共同参画推進員(広報スタッフ)と協働することで、市民目線で男女共同参画推進の視点に立つことができ、より一層の啓発につながると考える。また、広報スタッフ自身もソフィア発行に携わることで、男女共同参画推進への理解を深めることができています。</p>		

## 事務事業分析シート

所属名	男女共同参画センター	事業名	男女共同参画センター啓発事業	事業区分	その他
事務事業番号	01404				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞航等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
評価点合計 (100点満点)	90	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	男女共同参画センター	事務事業番号	01404
-----	------------	--------	-------

## 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>男女共同参画センターの機関紙である「ソフィア」を発行し市内各所に配布している。不特定多数の市民が目にする事ができ、市民にセンターの存在を周知するとともに利用者の拡大や男女共同参画に関して興味関心を持つ機会を増やすことにつながっていると考えられ、妥当性や有効性、公平性は高い。</p> <p>今後はユニバーサルデザインの研修会を企画することなどを検討し、紙面を工夫して、より多くの方が手に取られる内容を目指していきたい。</p>		

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に係る特記事項)

--